

2月5日（金）

今日の朝は霜が降りていました。屋根が朝日に輝いているのはきれいですが、厳しい冷え込みに首をすくめてしまいます。それでも時間が経つにつれ寒さも和らぎ、暖かな日となりました。

地区内の細い道のカーブの所に、伐採された樹木の枝などが高さ2m近く積み上げられていたところがあり、カーブのうえに、これがあって見通しが悪く、どうにかしないと、と思っていました。今日そのところを通ると、2、3人いて、その枝などは、きれいに無くなっていました。わたしの自治会の人達で、自主的に撤去作業をしてくれていたのだそうです。このような人がいてくれて本当に助かります。

何十年も前に歌われた「隣組」という歌があります。「とんとんとんからりと隣組 格子を開ければ顔なじみ 廻して頂戴回覧板 知らせられたり知らせたり」地域の人達は互いに「教えられたり教えたり」「助けられたり助けたり」なんですよええ。

余談。ついでに思い出したことが。私は子どもの頃、よくお隣さんに助けていただきました。なんか悪いことをしたらしく（どんな悪いことだったのかは覚えていない）外に放り出されて泣いていると、隣のおばちゃんがやってきて、うちの母親に謝って家の中に入れてやってくれと頼んでくれました。何度あったことか。ご飯も食べさせてもらったり、テレビも見せてもらったり、近所の人、地域の人ってこんなだったんですよ。今では考えられないような、よき時代でしたね。